

審判講習会検定員レポート

1. 講習会開催日 平成 27 年 1 月 25 日 (日)
2. 地区名・会場名 関西地区・豊中市立武道館ひびき
3. 検定員名 (全員の名前) 【検 定 員】 徳富弘人、田前純三、酒井寿和
【準検定員】 丸子孝仁
4. レポート提出者名 徳富弘人
5. 参加選手数 66 人
6. 講習会参加者総数 92 人
7. 受験者総数 26 人
8. C 級以上受験者数 (内、実技試験合格者数) A 級 4 人 (2 人)
B 級 2 人 (1 人)
C 級 7 人 (3 人)
9. どの様に講習会を進めたか (コート数、検定員の配置など)
12 : 45 ~ 講習会マニュアルに沿っての説明、質疑応答
13 : 45 ~ 審判講習会 【A コート】 徳富・酒井 【B コート】 田前・丸子
15 : 30 ~ 実技講評、質疑応答
16 : 00 ~ 筆記試験
16 : 40 終了
10. 今後改善すべきと感じた点
 - ・ 毎回書類の記入漏れが多いので、各自徹底してもらう
 - ・ 入退場時の挨拶および全ての審判動作をマニュアル通りに徹底化
 - ・ 主審の口頭注意の積極性 (目の前の選手が反則していても無言のまま進める主審や、口頭注意はしているものの声が小さい主審が多い)
 - ・ 反則に対する見極め力の向上 (半数ほどの副審が反則に反応しない、または遅い)

11. 総評

回を重ねるごとに参加者も増え、23 回目となる今回の参加者は 92 名でした。関西地区にも審判講習会がだいぶ浸透してきたのだと感じます。そして審判技術の向上も感じています。例えば、質疑応答が大変活発に行われたのですが、参加者の“やる気”が凄く伝わってきました。判定に関しても本戦は何でも引き分けにするのではなく、しっかり見極めて正確にジャッジしようとする姿勢が多数見受けられました。とはいえ、まだまだ未熟な点も多々あるため、講習会を毎年 3 回確実に開催できるよう、関西地区審判員のレベルアップに貢献していきたいと思います。